

平成 17 年度 活動報告会 議事録

・日 時 : 平成 18 年 6 月 24 日(土) 14:05 ~ 15:30

・場 所 : 石川県 NPO 活動支援センター「あいむ」会議室

・出席者 /

来賓 : 向田・森川(国土交通省)、粟(石川県議会議員)、折戸(石川県新幹線対策課)、
藤田・浅野(金沢市)、岡本(公共交通をよくする富山の会)、大西(公共交通を守る
石川の会)、高橋(福井路面電車とまちづくりの会)、中村(金沢工大)、永原(明るい
社会づくり運動)、岩谷(ハルテ-ジオブレイル北陸)、大竹 計 12 名

会員 : 五十嵐・稲葉・浦・黍野・木村・所村・干場・藤田・村中・山崎・吉田 計 11 名

・司会 : 山崎 ・記録 : 稲葉

・内容

1. 開会挨拶 (山崎)

2. 代表挨拶 (吉田)

3. 平成 18 年度の活動報告 [14:10 ~ 14:50]

1) 「バス停の快適度調査と乗り換えのシステム改善に向けた調査」調査報告 (吉田)

2) 「金沢外環状道路・山側幹線開通前後の調査」調査報告 (黍野)

3) 「横断歩道の安全性調査」調査報告 (五十嵐)

4. 質疑応答、意見交換 [14:50 ~ 15:25]

1) 山側環状開通で富山側からは明らかに便利になった。高規格部分との混合でスピード出しすぎの嫌いあり。道路は便利になったことで評価されるが費用対効果はあまり検討されない。このアバウさを他の交通手段(公共交通)にも適用してほしい感がする。(岡本)

2) 山側環状開通で郊外に人出が増え、都心は活性化されたとは思えない。4車線化の要望もあるがこれ以上投資する必要があるのだろうか。

横断地下道を閉鎖したらと沢山ある。そのあたりの調査も充実したらどうか。西念中地下道は非常ヘルプがあるのは良いが合同庁舎への案内表示不親切。その他ゴミだらけ照明灯がムダと思われるところあり、市民の声をあげる必要があるのでは。(永原)

- 横断歩道の融雪対策としてロードヒーティング方式を導入している。問題あれば速やかに対処したいので連絡を(向田)

3) バリアフリーの観点からのバス停、横断歩道調査などは参考にさせてもらいたい点が多々あり、我々も歩道の調査をしてみたい。(高橋)

4) 横断歩道を歩く人の信号無視が多いのはなぜだろうか。歩行者を重視した信号制御の方法も検討されるべきでは。歩行者の回遊性、歩行環境も調べてほしい。(藤田)

5) その他山側環状の現時点での評価や子供の安全問題、音の出る横断信号の充実、LRT 問題への取組み姿勢、新幹線対応についても意見交換があった。

5. 平成 18 年度の活動計画(案)の概要説明 (吉田)

6. 閉会挨拶 (山崎)

以上